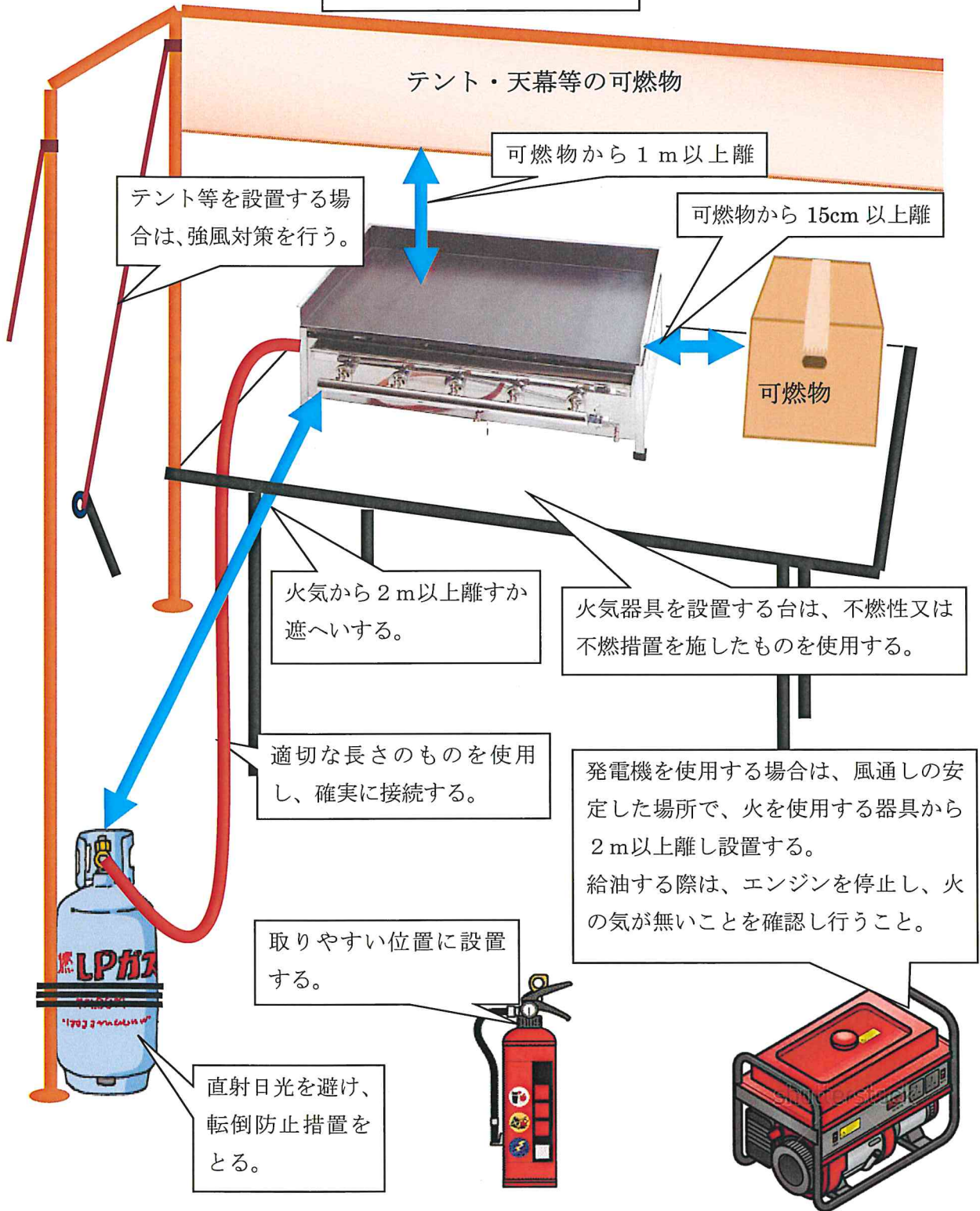


《 露店等の安全対策（設置例） 》

テント等の設置例

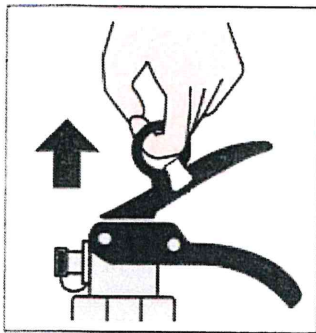


○ 粉末ABC消火器の使い方

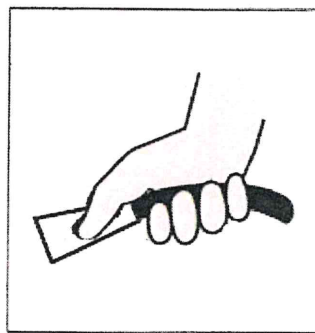
火災時に適切に取り扱えるよう訓練しましょう。

■ 消火器の使い方 ■

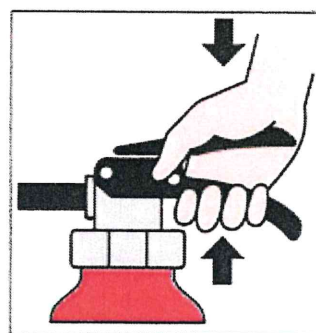
Step 1 安全栓を引き抜く



Step 2 ノズルを火元に向ける



Step 3 レバーを強く握る



注意点

- ① 燃え上がる炎や煙に惑わされず、放射距離を考えて安全なところまで近づき消火する。(約2m～3m)
- ② 消火器の放射時間は、約15秒から18秒程度です。慌てず、落ち着いて噴射。
- ③ 火元を目がけて噴射。ただし天ぷら油火災等は、放射圧力により火炎が返ってきたり油が飛び散り危険です、いったん壁などに当て圧を落としてから火元へ噴射する。
- ④ 消火器でいったん消した後、もう一度水をかけて完全に消火する。

爆発事故

1. 使用している火を止め、ガスの元栓を閉める。
2. 出火していたら消火活動を行う。
3. 祭り警備本部へ通報する。
4. けが人を確保し、救護所又は安全な場所へ搬送する。

地震発生時

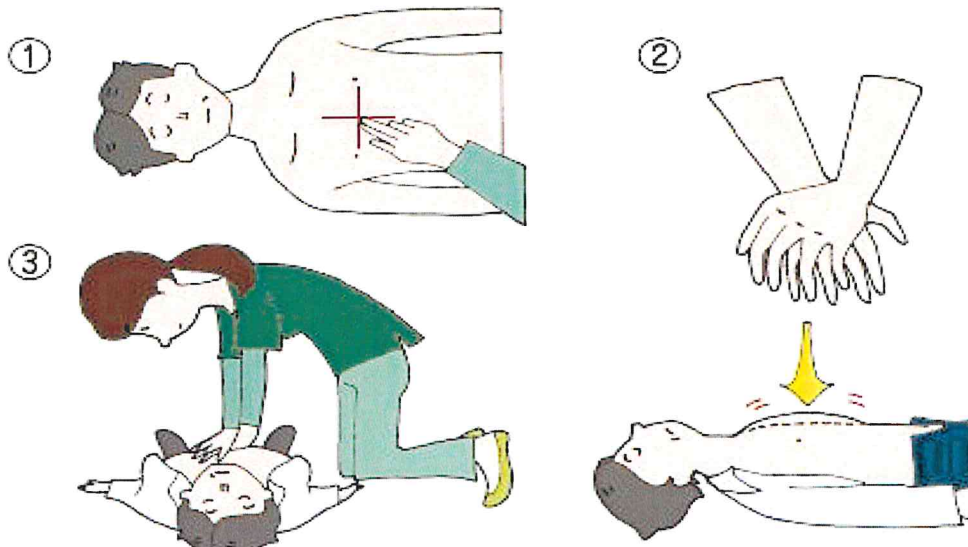
1. 身の安全を確保する。
2. 使用しているコンロ等の器具を全て止める。
3. 発電機を停止する。
4. 建物や崩壊の恐れのある場所から離れ、安全な場所へ移動する。
5. 津波の恐れがあるので、非常放送またはラジオ等で情報をとる。

救護（応急処置）

1. けが人が発生したら、救護所へ連絡し搬送する。
2. けが人に応急処置が必要な場合には、応急処置を実施する。
3. 大規模な地震が発生した場合、多数のけが人が発生することが想定されます。関係者全員で協力し救護活動を行う。

図8 心臓マッサージ（胸骨圧迫）

倒れている人の胸の真ん中に手のひらの根元の部分を重ねて乗せ、肘を伸ばしたまま真上から強く（胸が5センチ以上沈むまで）押してください。圧迫を繰り返すとき、手を胸から離さないでください



露店等の出店に伴う安全チェック

1. 露店等の設置

- 緊急車両等の通行を妨げていないか。(幅員約4m・設営高3m以上)
- 緊急時の避難経路を確認したか。(災害時の避難経路を複数確認する)
- テント・パラソル等の強風対策は良いか。(砂袋・杭・重り・固定物等への固定等)
- 電気配線等の管理は良いか。

2. 消火器の設置

- 消火器の設置は良いか。(火気等の近くは避け、取りやすい位置に設置)
- 消火器の取り扱いは大丈夫か。
- 消火器に腐食等が無い点検したか。

3. 火気使用設備の使用

- 設置状態は良いか。(不燃性の台で安定した状態で使用しているか)
- 周囲に可燃物は無いか。(周囲15cm以上、上方100cm以上離す)
- 周囲の整理・整頓及び清掃は十分か。
- 風除けは不燃材料を使用しているか。
- 火気器具の事前点検は済んだか。

4. 電気器具・配線

- たこ足配線はせず、適格容量で使用しているか。
- コンセント部分に水がかからない対策を行っているか。
- 電気配線が重量物に挟まれていないか。

5. プロパンガスボンベの使用

- 転倒防止は取られているか。
- 直射日光を避け、通気性のよい場所に設置されているか。
- 火気から 2 m以上離れているか、又は、不燃材で遮へいしているか。
- 使用しない時は、バルブを閉鎖しているか。
- ゴムホースの接続は十分か。
- ゴムホースは適正な長さで使用しているか。
- ゴムホースにひび割れ及び劣化等が無い。

6. 発電機使用の使用

- 風通しの良い、平らな場所に設置し、関係者以外は近づけない用になっているか。
- 火気から 2 m以上離れているか、又は、不燃材で遮へいしているか。
- 機器が振動等により設置場所から動かないように措置しているか。
 - ・ 燃料を補給する時は、エンジンを停止することを徹底する。
 - ・ 設置周辺に可燃物を置かないこと。
 - ・ 予備燃料を持ち込む場合には、火気から 2 m以上離し、直射日光を避け燃料容器の温度が上がらない風通しの良い場所に置くこと。
 - ・ 燃料補給時には、燃料缶のエア抜きを必ず行うこと。

露店等の火災予防自主点検表

火事を起こさないために、次の項目を確認し、安全に実施しましょう

【消火準備】

- 火気を使用する場所に消火器の準備をしている。
- 消火器はすぐに取り出せる場所に置いており、正しい使い方を知っている。

【火気器具等】

- コンロなどの火気器具等の近くに燃えやすいものを置いてない。
- 火気器具等は、安定している不燃性の台に置いている。
- 火気器具等の使用中は、絶対その場を離れない。

【プロパンガス】

- ガスボンベは、転倒しないよう設置し、直射日光や火気の近くに置いてない。
- ガスホースは、ひび割れや亀裂があるものは使用していない。
- ガスホースと器具の取付け部分は、ホースバンド等でしっかりと止めている。

【カセットコンロ】

- カセットボンベは、しっかりと確実に装着している。
- カセットボンベ装着部分を覆うような調理器具やコンロを2台以上並べての使用はしない。(カセットボンベは過熱され、爆発のおそれがあります。)

【ガソリン等の危険物】

- 危険物容器は、消防法令に適合した金属容器のものを使用している。
- 危険物容器は、直射日光や火気の近くに置いてない。
- 危険物容器のキャップを開ける前は、安全な場所で圧力を抜いて行う。

【携帯発電機】

- 途中で給油しなくて良いように、使用前に燃料を十分に補給している。
- やむを得ず、燃料を給油するときは、必ず運転を止めてから行う。

【電気配線】

- たこ足配線はせず、許容電流を守って使用している。
- 水のかかる場所で使用する電気器具は、防水型を使用している。

【放火防止対策】（2日以上連続して露店を開設する場合）

- 夜間等で無人になるときは、ボンベその他の燃料を置いたままにしない。
- 段ボールなど燃えやすいものを置いたままにしない。